

「令和6～7年度職員情報DB及び勤怠管理システムに係る
運用・保守業務」の意見招請に対する回答について

	頁番号	行番号	項目	意 見	理 由	別添資料番号	経済産業省回答
1	17	18	受注実績等	大規模な業務系システムを他社から引き継いだ実績は必要だと思います。	自社で構築したシステムの保守をする場合と異なり、自社とは違う方式、考え方で作られたものを理解し、保守・運用するためには、キャッチアップするノウハウが必要のため。		ご指摘のとおり、本事業を実施する上で実績として有していることが望ましい内容であると考えられ、評価時の加点要素として追加を検討いたします。
2	8	1	維持管理	1万人規模で利用され、勤怠や電子申請といった制度の変化もあるシステムの機能改善が年間で4人月では不足すると思います。	機能数も多く、利用者も多い状況であり、使ってみた後に機能改善を続けることが、業務効率化のために必要です。 この規模でシステムとして枯れ（全ての機能構築が終わって時間がたった状態）ていないことを考えると1名が常に優先度が高い改善を続ける（年間12人月）くらいは必要だと考えます。		本事業では、外部システムの仕様変更等に伴う改修等、運用保守の範囲で対応が必要な最低限の工数として年間4人月と想定しております。 制度改正や業務効率化に向けた改修を含め、保守運用の範囲を超える改修については、本事業とは別に、高度化改修として別途調達を行うことを検討します。